

つかむ

調べる

まとめる

深める

～日本の水産業に対する疑問から学習問題をつくり、予想から学習計画を立てる活動～

1. 小单元名『水産業のさかんな地域』

(教科書：『小学社会 5 上』 p.74～87／学習指導要領：内容（2）ア、イ、ウ）

2. 小单元の目標

水産業がさかんな地域について調べ、その地域の自然条件や、水産業に携わる人々の工夫や願いを捉えさせる。

3. 小单元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
自分たちが食べている水産物の産地や日本の水産業について関心をもって意欲的に調べ、自分たちの食生活を支えている水産業が今後どのようなになっていくとよいかを考えようとしている。	中陳さんの漁の様子から疑問に思ったことや調べたいことを考え、表現している。また、水産業に携わる人々の仕事の工夫や願い、安定して水産資源を確保していくために必要なことなどについて、資料や調べたことをもとに考え、適切に表現している。	水産業に関する写真や地図、統計などの資料を目的に合わせて収集・選択し、的確に読み取っている。	日本の水産業がさかんな地域の様子や、水産業に携わる人々の仕事の工夫、日本の水産業の現状や安定的に漁業を進めていくための養殖業や栽培漁業の取り組みについて理解している。

4. 指導にあたって

(1) 教材について

本小单元では、さんまの漁獲から加工、出荷まで、人や場所が変わっても一貫して鮮度を保つ努力が続けられていることに気づかせたい。安全性や鮮度を保つ取り組みを具体的に挙げ、結びつけて考えているかがポイントである。また、「とる漁業」と「育てる漁業」の違いをしっかりとつかませるようにしたい。米づくりでは、人の手で一から稲を育てて収穫するのに対し、さんま漁では、さんまの育成に人の手は加わらず、海（自然）の中で育ったさんまを漁獲する。このような「とる漁業」の前提を把握しておく、人の手によって水産物を育てて増やす養殖業・栽培漁業との違いもわかりやすくなり、水産資源の保護や自然環境の保全の必要性についても捉えやすくなる。

これらの活動を通して、我が国の水産業は国土の自然環境を生かして営まれ、国民の食料を確保するうえで重要な役割を果たしていることについて考えさせたい。

(2) 指導上の工夫・留意点

一貫して鮮度を保つ努力が続けられていることに気づかせるため、各時間の学習内容をつなげ、一連の流れとして捉えさせる必要がある。各時間の導入で、「この前は、さんまがどこまで来ていたかな？」などと問いかけ、前時からつなげて生産・出荷の過程を追うことができるようにする。

また、「とる漁業」と「育てる漁業」の違いをしっかりとつかませるために、米づくりとさんま漁の異なる点を考えさせるのも効果的である。

安全で質のよい水産物を確保するために必要なことを、学習したことをもとに考え、話し合ったり、ノートにまとめたりする活動を設け、「思考・判断・表現」の観点の評価に生かす。

5. 小単元の指導（総時数8時間）

時数	ねらい	○学習活動
② （つかむ）	自分たちの食べている水産物の名前や産地を調べ、日本の水産業について興味や関心を持ち、調べようとする意欲をもつことができるようにする。	○身近な水産物の産地を調べるとともに、主な海流と水あげが多い漁港との関係などについて考えることを通して、学習問題をつくる。
① （調べる）	さんまをとる中陳さんの仕事の様子から、水産業について調べていきたいことを話し合い、様々な工夫をしながらさんま漁を進めていることを調べて捉えられるようにする。	○中陳さんのさんま漁について、イラストの読み取りをもとに調べることを決めたあと、様々な資料をもとに、漁の工夫について具体的に調べる。
① （調べる）	根室港の様子や出荷に向けての仕事を調べ、さんまの出荷に携わる人々の工夫や努力、出荷にかかる費用と値段の関係について、捉えることができるようにする。	○写真や働く人の話を通して、根室港に水あげされたさんまのゆくえについて調べ、加工工場働く人たちの工夫や努力、値段の決まり方やかかる費用などについて話し合う。
① （調べる）	さんまが港から自分のもとに届くまでの様子を調べ、産地と消費地を結ぶ流通・輸送のはたらきについて捉えることができるようにする。	○さんまが産地から消費地までどのように運ばれているのかを様々な資料をもとに調べ、運送会社の人たちの工夫や努力、輸送手段やかかる費用の違いについて考える。
① （調べる）	北方領土と漁業の制限、水産資源の減少などについて調べ、漁業に携わる人たちの願いについて考えることができるようにする。	○根室の漁業と北方領土の関係や、日本の漁業の現状について様々な資料を読み取って調べ、漁業に携わる人たちの願いについて考える。
① （まとめる）	自然環境を生かしたかんぱちの養殖について調べ、質がよく安心して食べられる魚を育てる養殖業の工夫や努力に気づくことができるようにする。	○かんぱちの養殖の仕事やえさやりの工夫について資料を通して調べ、養殖業に携わる人たちの願いについて話し合う。
① （深める）	安定した漁業生産を旨とした稚魚育成や栽培漁業の取り組みについて調べ、今後の水産業のあり方について考えることができるようにする。	○かんぱちの稚魚育成や栽培漁業の取り組みを調べ、水産資源を守る工夫や願いを考えるとともに、これからの水産業について話し合う。

6. 本時の指導（第2／8時）

(1) 本時のねらい

普段食べている水産物が自分たちのもつに届けられるまでを考え、日本の水産業について興味や関心をもち、調べようとする意欲をもつことができるようにする。



(2) 本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

本時の考え合い表現し合う活動は、写真資料を読み取る中で出てくる疑問を出し合い、それに対する予想を立て、学習問題をつくる場面である。児童の思考がスムーズに流れるようにするため、疑問を出し合ったあと、その疑問に対する予想も話し合わせる。導入段階での話し合いであるため、学習面で遅れのある児童でも話し合いに参加しやすいよう、個人で考える時間を設ける。色の違う付箋にそれぞれ、写真資料を通して出た「疑問」と、生活経験の中から考えた「予想」を書き、4～5人のグループごとに画用紙にまとめていく。疑問をまとめて見出しをつけていき、その見出しからキーワードを考え出し、学級全体で学習問題をつくる。また、話し合いの中で深められた予想をもとに、これから何をどのように調べていけばよいか、見通しをもたせながら学習計画を立てる。

このように、子どもたちの疑問から学習問題をつくり、予想から学習計画を立てることで、単元を通して児童の興味・関心を持続できるようにしていく。

(3) 本時の展開（「つかむ」の2時間扱いのうち、本時は2時間目を扱う）

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価																								
8	<p>○「都道府県別の漁業生産額の割合」を読み取り、課題を出す。</p> <p>T：都道府県別に見ると、どこでいちばん多く水産物が獲れると思いますか？</p> <p>C：銚子港があるから、千葉県！</p> <p>C：大きい漁港が多いから、北海道。</p> <p>T：「都道府県別の漁業生産額の割合」で見ると、北海道がいちばん多いです。さんまが多く集まる漁港も、北海道の根室港でした。</p> <p>T：遠くで獲れた水産物が売り場に届くまでの水産業の様子について、考えていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題</p> <p>わたしたちが食べている水産物は、どこで多くとれるのだろう。</p> </div>	<p>◎都道府県別の漁業生産額の割合</p> <p>(2013年 農林水産省)</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>都道府県別の漁業生産額の割合 (2013年)</caption> <thead> <tr> <th>都道府県</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>22%</td></tr> <tr><td>長崎</td><td>7%</td></tr> <tr><td>愛媛</td><td>6%</td></tr> <tr><td>鹿児島</td><td>6%</td></tr> <tr><td>宮城</td><td>4%</td></tr> <tr><td>静岡</td><td>4%</td></tr> <tr><td>高知</td><td>4%</td></tr> <tr><td>三重</td><td>3%</td></tr> <tr><td>青森</td><td>3%</td></tr> <tr><td>兵庫</td><td>3%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>38%</td></tr> </tbody> </table> <p>◇「水産業」という言葉の意味を再確認する。</p> <p>◇円グラフを用意して、北海道の漁業生産額が最も多いことを視覚的に分かるようにする。</p>	都道府県	割合 (%)	北海道	22%	長崎	7%	愛媛	6%	鹿児島	6%	宮城	4%	静岡	4%	高知	4%	三重	3%	青森	3%	兵庫	3%	その他	38%
都道府県	割合 (%)																									
北海道	22%																									
長崎	7%																									
愛媛	6%																									
鹿児島	6%																									
宮城	4%																									
静岡	4%																									
高知	4%																									
三重	3%																									
青森	3%																									
兵庫	3%																									
その他	38%																									
10	<p>○写真資料「魚売り場にならぶ水産物」から分かったことを出し合う。</p> <p>T：この資料から気がついたことを出してみましょう。</p> <p>C：さんまがいちばん多く売られている。なぜ多く売られているのかな。</p>	<p>◎ア魚売り場にならぶ水産物 (教科書 5 上 p.74)</p> <p>◇資料名を全体で読み上げ確認する。</p> <p>◇教科書に直接印をつけるなどして、より多くのことに気づかせる。</p>																								

	<p>C: 大分や青森, 宮城や北海道から集まっているね。どうやって1ヶ所に集めているのだろう。</p> <p>T: 小学校の近くのスーパーでは, さんまを1匹95円で売っていました。</p> <p>C: 1匹780円はとても高い。どうして高いのだろう。</p>	<p>◇産地の表示に着目させ, 水産物が全国各地から一つの売り場に運ばれていることをおさえる。</p> <p>◇近隣の店で売られている水産物の値段を写真などで別途提示し, 値段の違いに着目させる。</p>
15	<p>○疑問を出し合い, 疑問に対する予想を立て, グループごとにまとめる。</p> <p>T: 写真を見て調べていきたいことや疑問に思ったことをピンク色の付箋, その疑問に対する予想を黄色の付箋に書き出していきましょう。</p> <p>C: なぜ, さんまだけ量が多いんだろう。</p> <p>C: どうやって様々な産地から新鮮な状態で届けられるのだろう。</p> <p>T: それぞれが書いた疑問と予想を見せ合い, 似たものをまとめて, 見出しをつけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚を獲るときの工夫 ・新鮮なまま届けるための工夫 ・値段について 	<p>◇写真資料からわかったことを出し合うなかで, 児童が疑問をもてるように発問する。</p> <p>◇各自で考えた疑問と予想を集約し, 見出しをつけることを通して, まとめられるようにする。</p> <p>◇見出しをキーワードとして位置づけるために, 太いペンを使って大きく書くよう指示する。</p>
10	<p>○学級全体で, 学習問題と学習計画を考える。</p> <p>T: みんなの疑問をまとめて, 学習問題をつくりましょう。</p>	<p>◇児童が学習問題をつくりやすいよう, リード文を与える。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習問題</p> <p>水産業のさかんな地域では, どのようにくふうや努力をして水産物を消費者に届けているのだろう。</p> </div> <p>T: 何から調べていくといいですか?</p> <p>C: まず, 海から魚を獲るんだから, さんまを獲る方法から調べるといいと思うよ。</p> <p>C: 魚を獲った船は港に着くから, 次は港の仕事について調べるといいね。</p> <p>C: 港からどうやって店や家に届くのかな。それを調べていこう。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>学習計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚を獲る工夫 ・港の仕事 ・輸送方法 </div> <div style="text-align: center;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">海</div>  <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">売り場</div>  </div> </div>	<p>◇キーワードから学習計画を立てる。</p> <p>◇視覚的に学習の流れがわかるよう板書する。</p> <p>◇左のような資料掲示をすることで, さんまが獲れてから自分たちの手元に届くまでの流れに沿って調べていくという, 学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>◆日本の水産業に興味や関心をもち, 調べようとする意欲をもっている。(関・意・態/ノート)</p>
2	<p>○次時の予告をする。</p>	<p>◇次時に関心をもてるようにする。</p>